

Sankka

讃歌
秋号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 循環器内科部長に
お聞きしました。

心臓カテーテル治療のエキスパートが
24時間態勢で治療に当たっています。

◎特集②

京都九条病院「血液透析センター」のご案内

◎「ユニケーション」広場

- 健康は毎日の食事から「医食同源」講座(第14講目)
- 暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座(第20講目)
- ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第24弾)
- 私の病院自慢あれこれ(第24回)

◎院内クラブのご紹介!!

○バレーボール部



院長 山本 重水



循環器内科部長 佐久間 孝雄

vol.24
2011 Autumn
秋号

心臓カテーテル治療の エキスパートが 24時間態勢で 治療に当たっています。



高橋大生病院 循環器内科部長
佐久間 孝雄

Takao Sakuma

心筋梗塞を起こす大きな要因は 生活習慣病です。

当科では血液の循環にまつわるシステムについて取り扱っており、その循環の中核である臓器が心臓という事になります。心臓は1分間に60回くらい収縮します。24時間で約10万回、1年間で約3650万回、50歳の人だと生まれてから約18億回も収縮した計算になります。心臓というのは、こんなにも運動している器官なんです。その心臓に栄養を送るパイプの役割をしているのが直径3mm程度の冠動脈という血管です。心臓が一回収縮するたびに約3ccの血液が冠動脈に流れ込みますので、1日に流す血液は300リットル。それだけ重要な血管だと言えます。その冠動脈が狭くなったり詰まったりすると、狭心症や心筋梗塞という病気につながります。こうした冠動脈の疾病に対して私たち循環器内科は、薬やカテーテルなどを使って治療しています。冠動脈が狭くなったり詰まったりする原因には、加齢による

血管の老化だけではなく、喫煙習慣や、高血圧や糖尿病、高脂血症など生活習慣病が大きく関与しています。しかし近年は、食の欧米化の影響などもあって生活習慣病を抱える人が多くなり、若い人の中でも心筋梗塞になる患者さんが増えてきました。この病院にも30歳くらいの方が運ばれてきたことがあります。

心筋梗塞を予防するには、何より生活習慣病を治すことが重要です。とくに問題なのは肥満。太ると心臓に負担がかかるだけでなく、血圧やコレステロール値も増え、糖尿病も悪化し、内臓

にも影響が出ます。ウォーキングなど有酸素運動を継続して行い、太らないようにしましょう。一方、

高血圧症の方は、糖尿病や心臓病などを併発していることが多いため、それぞれの患者さんに合わせた薬で治療する必要があります。また、高血圧症は持続して治療を行わなければ意味がありません。ですが、少し血圧値が下がってくると途中で勝手にやめてしまう人も少なくないのです。高血圧症の専門医としてそうした点に留意して治療を行うとともに、地域の診療所とも協力しながら積極的にライフスタイルの改善に取り組み、心筋梗塞の予防に努めていきたいと思っています。

前駆症状が出たら、 軽く考えずすぐに受診してください。

心筋梗塞が起きる前にはしばしば前駆症状（病気が起こる前兆として現れる症状）が出ます。階段や坂道を登っている時に胸が苦しくなった、歩いている時に

急に息切れがしたなどの症状が出た時には、軽く考えないで治療を受けてください。なかには歯の痛みや肩の痛みが、循環器の疾病からきている場合もあり

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。

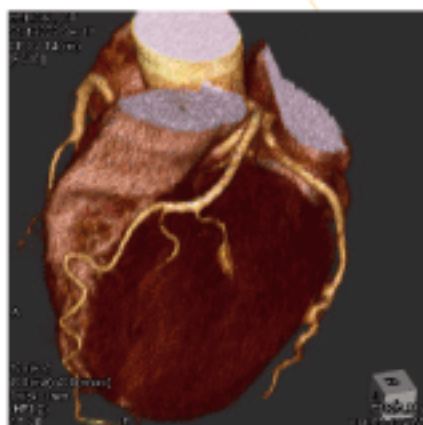
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す

前向きな姿勢を持ち続けます。

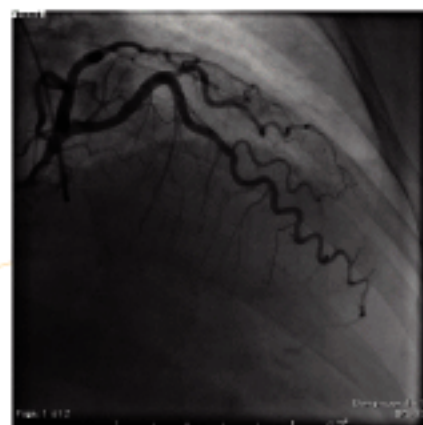
OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

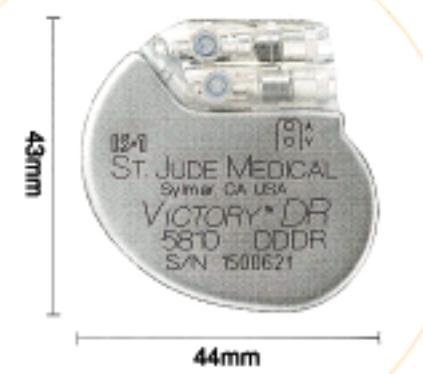
- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切的な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスケアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。



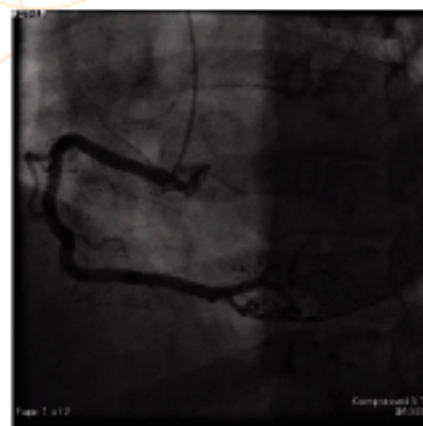
■心臓CT画像



■カテーテルによる血管造影(左冠動脈)



■ペースメーカー (Victory™ DR)



■カテーテルによる血管造影(右冠動脈)

私たちは、24時間態勢で救急救命治療に当たっています。

発作が起きた場合は、できるだけ早く病院で受診することが大切です。心臓の細胞は、血液の

ます。原因が分からない胸部付近の疼痛、特に運動すると痛くなるという場合は、一度、循環器内科で受診されることをお勧めします。
また、ふらつきたり安静時に急に動悸がした場合は、不整脈の可能性があります。放っておくと意識喪失を引き起こしたり心不全になることもあります。当科では、内服薬で効果のない徐

脈性不整脈に対しては、ペースメーカーによる治療を行っています。ペースメーカーは年々進化しており、現在では大きさも五百円玉より少し大きいくらいに軽量化、以前と比べるとあまり違和感なく埋め込むことができるようになりました。胸部に不快感を感じたり、ふらつき等の症状が出現した場合は、ぜひ診断を受けてください。

供給が止まるとすぐに死んでいきます。時間が経てば経つほど壊死していく範囲が広がっていきますので、痛みの持続時間が20分以上続いた場合は、治っても後遺症が残る確率が高くなるのです。つまり、心臓の収縮力が弱くなり、軽い運動で息切れしたり、不整脈になるなどの合併症が起こるリスクがどんどん高くなるわけです。たとえ発作が起こった時間が短くても、再発作を起こすと命に関わる場合があるので、すぐ治まったからと放っておかず、でき

るだけ早く受診してください。
寒くなりかけのこの時期、血圧が高くなるなどして発作を起こす方が増えます。とくに朝方、起き上がるときや朝の活動をはじめるときに危険タイム。ご家族に高血圧の方、高齢者がおられる場合などは注意してください。

京都九条病院は24時間、いつでも救急の患者さんに対応できる体制を整えています。私自身も近くに住み、呼び出しが其次第、駆けつけられるように準備しています。薬剤によってコントロールできないような症状であったり、心筋梗塞になってしまった場合にはできるだけ早くカテーテル治療を行う必要がありますが、京都九条病院には循環器専門の医師(3人の常勤と2人の非常勤)が居り、心臓カテーテル治療の認定医、専門医が常に待機しておりますので安心して受診していただけます。さらに、私たちは、患者さんの臓器だけを見るのではなく、お一人おひとりのバックグラウンド、生き方を尊重しながら治療に当たっています。心配なことなどあればお気軽にご相談ください。



明るい笑顔で患者さんをお出迎えます。

特集

2

京都九条病院 「血液透析センター」のご案内

「血液透析センター」は、

京都九条病院内への移転によって、

より利用していただきやすくなりました。

今号と次号の2回にわたって、

新しくなった「血液透析センター」についてご紹介いたします。

初回は、岸本博明臨床工学課長にお話を伺いました。

病院との連携により、
合併症にも迅速、
適切に対応いたします。

維持透析をする施設は、それに特化した施設が多いのですが、京都九条病院では、病院内で維持透析をすることが可能になりました。

透析治療の患者さんはさまざまな合併症を抱えておられる場合が多いのですが、高度な検査機器を備えた病院内にあることで、

随時、適切な検査を受けることができます。また、透析治療を行うことによって万が一、消化器系や血管系などに問題が発生した場合も、京都九条病院には消化器、循環器、脳神経外科などの専門医が揃っていますので、すみやかに的確な対応を行うことができます。さらに、新施設ではエンドトキシンの発生を抑制する特殊な構造の透析液配管を使用して透析液の清浄化を図っており、安心して透析治療を受けていただけます。

当センターでは、京都九条病院



写真：右
透析によって血圧が低下する患者さんなど、個々の症状に合わせた透析液を作ることができ、高度な透析治療ができる装置。

写真：左
血漿交換装置
家族性高脂血症、閉塞性動脈硬化症などの患者さんに対してLDLアフェレシス治療を行います。



京都九条病院
臨床工学課長

岸本 博明

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



パーソナルスペースもゆとりとっており、温かな雰囲気の中で安心して治療が受けられます。

週3回、1回4〜5時間にも及ぶ透析治療は患者さんにとって精神的にも大きな負担となります。当センターでは雰囲気や和ませる間接的な照明を使っているほか、ゆとり幅の広いベッド、自由に地上デジタル放送を見ていただけるテレビを備えるなど、アメニティ面でも

アットホームな雰囲気の中でゆとりたっぷりリラックスして治療を受けていただけます。

に入院して透析治療を受けていた方が退院され、通院治療に変わったときも、スムーズに移行でき、そのまま同じスタッフのもとで透析治療を続けていただけます。

きめ細やかな配慮をしています。

透析療法技術認定士の資格を持つスタッフ3人を含め、熟練のスタッフが揃っているのも当センターの特徴です。11床と小規模で、いつも同じスタッフが患者さんお一人おひとりとのコミュニケーションを大切にケアに当たっておりますので、アットホームな雰囲気の中でリラックスして治療を受けていただけます。さらに、管理栄養士による栄養指導や理学療法士による運動指導などのサービスも充実しています。透析患者さんの病状に合わせたお弁当（有料）も用意できますので、お気軽にご利用ください。

治療は月曜から土曜まで、午前8時から10分、午後2時から、1日2回行っています。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは
京都九条病院まで
075・691・7121

次号では、より詳細な内容について、糖尿病内科・人工透析の専門医である江端一彦先生にお話を伺います。





ぶり里芋の揚げひたし

材料(4人分)

1人分のエネルギー394kcal
 蛋白質18.7g、脂質24.8g、炭水化物21.0g、
 ビタミンB10.22mg、ビタミンB122.75ug、
 ビタミンC11.3mg、ビタミンE7mg、
 ビタミンA38ug、食物繊維3.27g、水分2.3g

ぶり……4切れ
 塩こしょう……適量
 片栗粉……大さじ1
 里芋……中12ヶ
 揚げ油……適量
 白ねぎ……1本
 ゆずの皮(千切り)……適量
 赤唐辛子……1本

醤油……大さじ4
 みりん……大さじ1
 酢……大さじ3
 だし……適量

- ① ぶりは、1切れを2〜3つに切り、軽く塩こしょうをふる。
- ② 赤とうがらしは、種をぬいて小口切にして、Aとあわせておく。
- ③ 里芋は洗って水気をふき、皮をむく。
- ④ ③を揚げ油(165℃)にいれ、裏揚げをし、Aに浸す。
- ⑤ ぶりの水気をとり、片栗粉をつけ175〜180℃の油で揚げ、Aに浸す。
- ⑥ 白ねぎは、千切りにする。
- ⑦ 器に、④と⑤を盛り、最後に⑥とゆず皮を上から散らす。

この時期、ついひいてしまいがちな風邪。予防には、ウイルスに負けない体力や抵抗力をつけることです。そのために必要なのは、栄養と休養。栄養では、良質な蛋白質をきちんと摂り、基本的な体力をつけ、おく事が大切です。鼻や喉の粘膜を強くするビタミンA、疲労回復やストレスに対する抵抗力を高めるビタミンCを摂るとよいでしょう。ほかにも

酔に含まれるクエン酸は、体内にたまった疲労物質を分散します。休養では、睡眠不足をさけ疲れをためないように、体力を温存することです。体が疲れていると、様々な風邪の症状を引き起こす原因になります。早めに休養をとるよう心がけましょう。

今回ご紹介するのは、旬の食材ぶりと里芋。ぶりは、蛋白質・脂質、ビタミンB1、B2、B12、D、Eの各種ビタミンやリン、鉄分などが豊富に含まれているので、幅広い効果が期待できます。脂質に含まれるDH A、E P Aが豊富で脳の活性化や動脈硬化の予防などの効果も期待され、血合い部分には、疲労回復にも効果的なタウリンも含まれています。里芋特有のぬめりのムチンという成分は、消化を助け、胃の粘膜を保護する作用や蛋白質を効率よく吸収する働きもあり、肉と魚との食べ合わせで体力アップ。低カロリーで食物繊維も豊富なので、食べ過ぎの防止や排便を促す効果が期待できます。もうひとつのぬめり成分がガラクトン。免疫力を高め、血圧を下げ動脈硬化を予防し、血中のコレステロールを下げる効果も。ねぎの白い部分はビタミンCも多く食欲の増進や血行をよくし、体を温める効果があります。ねぎ特有の辛味の硫化アリルは免疫力を高め、ビタミンB1の吸収を助け、エネルギー代謝を促進、疲労回復に役立ちます。

FOOD for HEALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座

講師:京都九条病院 管理栄養士

尾木 敦子
Atsuko Ogi



ウイルスに負けないためにも、栄養と休養を。



NURSING for HEALTH

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座

京都九条病院
手術・中材室

日常生活で感じるなにげない温度差、けっこう体に負担をかけてるんです。



ヒートショックという言葉を知っていますか？ヒートショックとは、急激な温度変化に体が対応しきれなくなり、影響を及ぼす状態です。冬の寒い時期に、暖房の効いた暖かい部屋から廊下やトイレなどに行くと、寒さに「ソクソク」と震える事はありませんか？この状態もヒートショックの一種です。



脱衣所から浴槽への急激な温度変化は血管を伸縮させ、血圧や脈拍を大きく変動させてしまいます。さらに、湯船に入ると心臓への負担がかかります。お湯につかっただけで温熱効果で血流が良くなり血圧は急激に下がります。このような日常的な動作ですが、急激な温度変化に体がついていけなくなると、脳梗塞等の脳卒中・心筋梗塞を起こしてしまいます。特に高齢者の方や高血圧・糖尿病・動脈硬化・肥満気味の人・不整脈がある人は注意が必要です。手軽にできる対策として、シャワー給湯がお勧めです。浴槽に湯を張る際にシャワー



家庭の中でも、少しの工夫で予防対策ができます。これからの寒い季節は、室内の乾燥や温度差に注意して健康を維持しましょう。

FACE of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 整形外科

四本 忠彦先生

Tadabiko Yotsumoto



趣味は料理と津軽三味線。
休みの日には、
子どもと温泉につかって
リラックスしています。



音楽は聴くのも弾くのも気持ちがやすらぎますね。

4月から整形外科で勤務しています。スポーツ整形や肩肘関節の損傷などの治療を専門にしていますが、運動器に問題を抱えている患者さんの治療にも力を入れています。

得意なのは料理です。レポートは中華からイタリアンまで何でも。妻も仕事を持っているので、自分の方が早く帰った時には家族の夕食も用意するんですよ。最近は粉ものに凝っていて、小麦粉からパスタを作ったりパイ生地を作ったり。これから挑戦したいと思っているのはオリジナルの肉餅づくり。食べることが好きなので、趣味と実益を兼ねてこれからもいろんなものを作りたいですね。趣味は津軽三味線。もともと好きなアーティスト

がいて、ライブハウスなどに演奏を聴きに出かけていたのですが、自分でもやってみようと一年ほど前に取り組みははじめました。練習は、専らCDやインターネットなどを利用しての独学。暇を見つけては、ジャンジャンとかき鳴らしています。

リラックス法は温泉に行くこと。休みの日には、家族で近くの摂津峡温泉に出かけます。なにより今は子どもと遊ぶのが楽しみ。温泉と一緒に行くのもそうですが、自転車に乗る練習を手伝ったり、散歩したり。一緒にいられる時間が少ないので、ともに過ごす時間を大事にしています。

LOVE my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

病院の「いい」が大好き!!
京都九条病院のいいところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

好きな言葉 favorite word
「思いやり」
津田 知美
薬剤部 調剤助手



スタッフ皆が優しく、ていねいに教えてくれるので、働きやすい職場です。もともと医療関係の仕事に興味があったここに。調剤助手として薬剤師の調剤を手伝ったり、取り揃えた薬を各課に届けたりしています。

5月に入社したばかり。今はまだ勉強中で、スタッフから指示されたことをこなすだけで精一杯ですが、薬の知識を少しずつでも増やして成長していきたいと思っています。

好きな言葉 favorite word
「工夫」
中西 真
リハビリテーション課 理学療法士



地域に密着していて、来られる方を断らない姿勢が好きです。救急の分野を大事にし、急性期から患者さんが自立できるまで長くサポートしているところ、また身体の面だけでなく患者さんの暮らしそのものまでケアしていくところが、この病院のいいところ。ここに就職を決めたのもそういう姿勢に惹かれたからなんです。これから知識・技術はもちろん、人間性も磨いて、患者さんの期待に応えられるような療法士になりたいと思っています。

好きな言葉 favorite word
「想い」
一政 苑里
看護部 5階病棟



先輩にもドクターにも素直に「わからないので教えてください」と言いやすいんですよ。患者さんのために、という思いで繋がっているからこそ、良いコミュニケーションが取れるのだと感じています。ナースになって一年目、徐々に難しさも出てきました。特に気をつけたいのは言葉。何気ない一言が患者さんに大きな影響を与えることがあるので慎重に選ぶように心がけています。もっと自分を磨き、患者さんの希望に沿ったサポートができる看護師になりたいですね。

好きな言葉 favorite word
「向上心」
三上 忍
事務部 経理課



スタッフの皆さんが気さくに接して下さるのがいいですね。質問をすると、ていねいに教えてもらえますし、確実に仕事の幅が広がっているのを感じます。簿記の資格を生かせる経理の仕事をしたと思い、この4月に入社。経理の仕事は、きっちり計算を合わせること。もし合わなければ、原因を突き止めるまで仕事を終えることができません。その意味では責任も重いのですが、やりがいがありますし、これからも長く続けたいと思っています。

京都府知事杯争奪 第34回病院対抗女子バレーボール大会

京都九条病院バレーボール部は、京都市横大路体育館で開かれた京都府知事杯争奪第34回病院対抗女子バレーボール大会(主催(社)京都私立病院協会)に出場いたしました。

8月28日に行われた予選では、一回戦で敗れたものの、敗者復活戦では見事、ストレート勝ち。全チーム41チーム中、32チームが出場できる決勝大会に進出しました。残念ながら、9月29日の決勝大会では一回戦で敗退、目標のベスト16入りはなりませんでしたが、さまざまな収穫があった大会でした。

実は、8月29日の敗者復活戦でエースアタッカーが手首を痛め、全治二か月の怪我をしてしまったのです。エースが出場できないという非常事態、さらに、もともとぎりぎりの人数で戦っていたチームは、選手不足で決勝大会への出場が危ぶまれるという危機に立たされました。そのピンチを救ったのが山木院長のバックアップだったのです。院長は毎試合、会場に駆

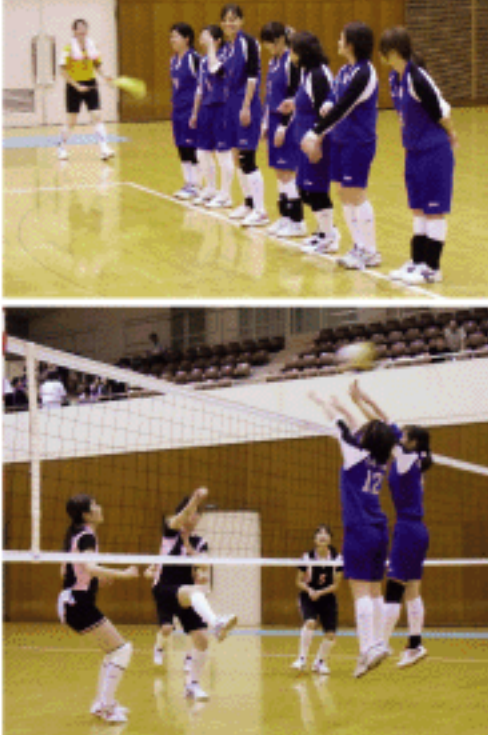
けつけて応援する熱心なチームサポーターで、今大会も奥様とともに予選大会から応援に参加。エースの負傷を知った院長は、病棟のスタッフなどに声をかけるなどして、部員募集を後押ししてくれました。その呼びかけに応じて新しく2人の部員が加入し、何とか決勝大会に出場することができたのです。即席チームだったがゆえに今回は残念な結果に終わりましたが、2人ともバレーボール経験者。チームにとって、大きな戦力増強になりました。

また予選大会を見た院長が、京都九条病院にはスポーツチームの応援旗もなく、これでは選手の士気も上がらない、ぜひ旗を作ろうと提案して、写真のような立派な旗ができました。決勝大会ではこの旗の下にサポーターが集結、皆さんの大きな応援の声が、選手の励みになりました。

夜勤があったり残業があったりして、なかなかチーム全員が揃うのが難しいのですが、脳神経外科の平井先生を中心とした男性

コーチ陣の指導のもと、決勝大会には、毎回進出できるようになりました。

この大会をきっかけに新部員も加わりましたので、来年はもっとよい成績が残せるのではないかと期待しています。どうぞ次回をお楽しみに。



医療法人同仁会(社団)
京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10
TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311
www.dojinkai.com/

医療法人同仁会(社団)
ショートステイ マム
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10
TEL 075-691-7867・FAX 075-691-7671
www.dojinkai.com/

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30
TEL 075-691-7768・FAX 075-693-6175
www.do-clinic.com/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30
TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6135
www.do-clinic.com/yobo/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マム フローラ
〒617-0853 京都府長岡京市皇御寺奥ノ邸25-2
TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam_f

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋藤屋町16
TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam_s

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10
TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam_s

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マム クオーレ
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3
TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7785 www.dojinkai.com/mam_c

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10
TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam_s

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30
TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/